



◀浜国道沿いの旧飾磨市役所 姫路の城下町の外港として栄えた飾磨は、もともと姫路とは別の町であり、独自の発展を遂げ、戦前の昭和15年には市制を施行している。中央やや奥、ギリシャ神殿風の柱を配した建物が旧飾磨市役所庁舎である。外車が走る道は浜国道(国道250号)。バイパス化された現在からは想像もできないのどかな光景である。
〈飾磨区宮・昭和30年代〉



▲家島港に着いた定期船 家島汽船の定期船が船着場に到着し、両手に荷物を抱えた乗客が桟橋に降り立ったところ。家島汽船は明治期の創業。大型の汽船を用い、姫路～家島間を約1時間で結んでいたが、高速船航路を持つ同業他社の台頭などによって平成17年に廃業した。
〈家島町真浦・昭和46年頃〉

特色 4 **ご家族、ご近所
ご友人、みなさまで
楽しめる！**



▶灘のけんか祭り 白浜町に鎮座する松原八幡神社の秋季例大祭は、7つの氏子集落がそれぞれの屋台を練り競い、3つの神輿をぶつけ合う勇壮さから「灘のけんか祭り」と通称されている。写真は、「シデ持ち」に囲まれた松原村の屋台の宮入風景。
〈白浜町・昭和40年頃〉



▲天長節の日の網干尋常高等小学校 天長節とは天皇の誕生日(昭和時代は4月29日)のことで、戦前は四大節のひとつとして学校などで盛大な奉祝行事が挙行された。写真は網干尋常高等小学校での行事の一景で、校庭に設けられた奉安殿に向かって、教師と児童が頭を垂れているところ。
〈網干区新在家・昭和7年〉

特色 3 **わかりやすい解説や
身近な話題が満載！**

特色 1 **懐かしい
オリジナル写真
約600点を厳選収録！**

▶姫路城天守心柱の祝い曳き 昭和31年から着手された姫路城天守の修理の際、天守を支えていた心柱のうちの1本の腐朽が判明した。全国各地を探し回り、ようやく見つかった木曾の大木も運搬中に折れ、神崎郡市川町の笠形神社の御神木を継ぎ足して心柱とした。姫路駅から天守までは、木遣り唄に合わせて心柱の祝い曳きが盛大に行われた。
〈本町・昭和34年〉



特色 2 **胸が熱くなる
思い出の情景が
よみがえる！**

◀野里街道の旧道と新道 日吉神社付近から南を見ている。中央に写るのが野里派出所で、左右の道は但馬と姫路の城下町とを結ぶ野里街道の旧道(左)と新道(右)である。野里は、この街道の影響で近世より商業地として賑わった地域で、現在でも旧道沿いには情緒ある街並みが残っている。
〈梅ヶ枝町～伊伝居・昭和40年頃〉

▶娯楽の殿堂・大劇シネマ 昭和30年、十二所線沿いの一等地に開館。同50年代にかけてスクリーンを増設し、姫路市民のみならず西播磨一円から映画ファンが詰めかけた。また、時代の変遷とともにボウリングやカラオケを併設するなど「娯楽の殿堂」として親しまれたが、平成27年に惜しまれつつ閉館となった。
〈忍町・昭和31年〉

